

# ふれあい通信



長南町長  
平野 貞夫

今月号ではタイケン学園の学校紹介と協定内容の説明をしたいと思つておりますが、4月27日に「学校誘致特別委員会」が開催され、議案として提出しておりました「平成28年度一般会計補正予算」の採決がおこなわれました。この補正予算は、学校を誘致すべきかどうかを判断するための調査費及び、協議に伴う必要経費を計上したものですが、結果は賛成少数で否決となりました。今後この特別委員会の報告を受けて、本会議で採決がおこなわれるこ

ととなります。本会議と特別委員会のメンバーはほぼ同じですので、本会議においても否決されるのではないかと推測されます。

特別委員会では、「タイケン学園の誘致はダメです」「誘致のための調査、検討、協議をおこなってはいけません」ということですので、このことによつて、執行部の次の手は無くなることになりますので、学校誘致の件は無かつたことになります。私としては、問題とされているいくつかの条件については、悩みに悩み、熟慮に熟慮を重ねた中で、とにかく話し合いのテーブルについてもらつた方が町にとつて得策と考えたわけであります。協議、交渉の余地が残されている以上、最少

となりますが、大型事業を採用できなかつたことは、非常に残念に思うところであります。

ふれあい通信4月号、5月号で、学校誘致について、地域の活性化のため、町の発展のため、更には「ふるさと長南の再生」のために取り組んでいきたいと述べさせていただきましたが、今月号を持ちましてこの話は終わりとさせたいただきます。町民の皆様にご心配やご迷惑をお掛けいたしましたこと、また、お騒がせをいたしましたことを心からお詫び申し上げます。今後のことについては、本会議の採決後にお示ししたいと思つておりますが、学校跡地活用が長南町復活の重要な課題であることには変わりありませんので、執行部一丸となりませんので、取り組んでまいりたいと考えております。町民の皆様の更なるご支援、ご協力をいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたしま

SADA<sup>SMILE</sup>  
No.16